

第108期

株 主 通 信

2021年1月1日～2021年12月31日

KITZ
株式会社 **キッツ**

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、皆様の早期回復と一日も早い感染の収束を心よりお祈り申し上げます。また、感染拡大防止にご尽力されている皆様に深く感謝申し上げます。

第4期中期経営計画の最終年度である当期は、売上高や営業利益などの主要な数値目標に対してはいずれも未達という結果となりましたが、半導体製造設備向けの好調のほか、原材料価格の高騰などを受けて実施した価格改定効果もあり、前年同一期間と比較して大幅な増収増益となりました。

2030年までにキッツグループが進むべき方向として、このたび長期経営ビジョンを策定するとともに企業理念を刷新し、さらに2024年度を最終年度とする新中期経営計画を策定いたしました。キッツグループ一同、新たな目標達成に向け一丸となって邁進するとともに、バルブの製造で培った流体制御技術をさらに進化させ、スピード感とチャレンジ精神で、皆様の期待を超える“新しい流れ”を築いてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年3月

代表取締役社長 **河野 誠**

ドーム兄弟
扁壺《ロレーヌ公ルネII世》

制作年：1895年
高さ：25.2cm

ルネII世は15世紀にロレーヌ公国を治めた名君です。1477年にナンシーで敵を討ち取り故郷に平和と繁栄をもたらしました。19世紀末アール・ヌーヴォーの時代には、理想の高みを目指すリーダーシップの象徴として人々に敬愛されました。

北澤美術館所蔵

当期の業績のほか、今年2月に発表した長期経営ビジョンの内容などについて河野社長に伺いました。

代表取締役社長 河野 誠



当期(2021年度)の連結業績の概要

Q 当期は前期に比べて大幅な増収となりました。

A 半導体向けの好調と価格改定効果により、バルブ事業が大幅に増収

決算期を3月31日から12月31日に変更したことに伴い、前期は9ヵ月決算でしたので、2020年1月1日から12月31日までの12ヵ月間を「前年同一期間」として算出した参考数値との比較となりますが、連結売上高は、206億51百万円増の1,357億90百万円となりました。期初の時点では新型コロナウイルス感染症が市場に与える影響が不透明でしたが、バルブ事業では、半導体製造設備向けが好調に推移しました。また、原材料や部品、副資材の高騰などを受け4月と8月に実施した価格改定の効果もあり、国内向けが増収となりました。海外向けについても、新型コロナウイルス感染症拡大による落ち込んだ需要が徐々に回復して増収となり、バルブ事業の売上高は、前年同一期間比114億19百万円増の1,067億54百万円となりました。

伸銅品事業においても、売価に影響を与える原材料相場の上昇に伴う販売単価の上昇と販売量の増加により、前年同一期間比92億63百万円増の273億66百万円となりました。その他(サービス関連の事業)については、緊急事態宣言の再発令による宿泊客の減少などにより、前年同一期間比30百万円減の16億68百万円となりました。

Q 営業利益、経常利益も増益となりました。

A 大幅な増収によりバルブ事業、伸銅品事業ともに増益

損益面においても、半導体製造設備向けが増収に伴う増益のほか、販売数量の回復、コストダウン効果によりバルブ事業の営業利益が前年同一期間比27億81百万円増の120億88百万円となりました。

伸銅品事業においても、増収及び生産性の向上により前年同一期間比8億50百万円増の6億65百万円(前年同一期間

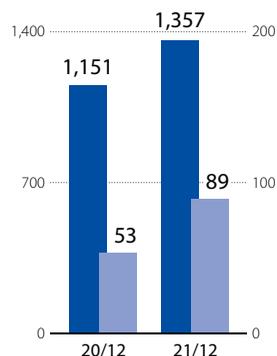
セグメント別売上高・営業利益

(単位：億円)

- 前期に決算期を3月31日から12月31日に変更したことに伴い、当期は2021年1月1日から12月31日までとなっています。
- 決算期変更の変則期間である2020年度(2020年12月期)は、2020年1月1日から12月31日までの12ヵ月間を前年同一期間として算出した参考数値(監査対象外)を記載しています。

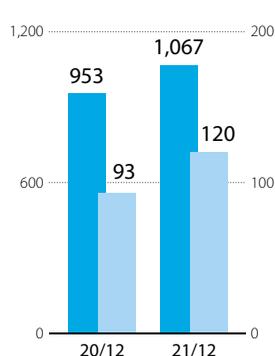
連結

■ 売上高(左軸)
■ 営業利益(右軸)



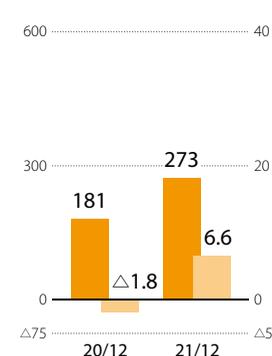
バルブ事業

■ 売上高(左軸)
■ 営業利益(右軸)



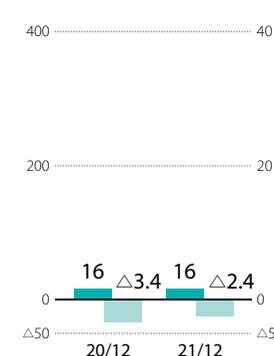
伸銅品事業

■ 売上高(左軸)
■ 営業利益(右軸)



その他

■ 売上高(左軸)
■ 営業利益(右軸)



※セグメント別営業利益は全社費用等消去前の数値となっています。

は1億84百万円の営業損失)となりました。また、その他(サービス関連の事業)は、前年同一期間比で1億1百万円改善したものの2億43百万円の営業損失(前年同一期間は3億44百万円の営業損失)となり、連結営業利益は前年同一期間比36億62百万円

増の89億90百万円となりました。経常利益も、前年同一期間比36億2百万円増の89億75百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同一期間比15億88百万円増の49億54百万円となりました。

第4期中期経営計画の総括

Q 第4期中期経営計画の売上高や利益はどのような状況だったのでしょうか。

A 売上高や利益の数値目標は未達

第4期中期経営計画(2019~2021年度)の売上高や営業利益などの主要な数値目標に対してはいずれも未達という大変残念な結果となりました。新型コロナウイルス感染症の拡大による市況の停滞の影響が大きかったのですが、国内・海外の市場見通しの甘さや収益構造改革の遅れもあったと分析しています。

営業キャッシュ・フローの不足とコロナ禍による市況の不透明さから、成長投資は2022年度以降に持ち越すこととした一方で、配当金は配当方針である連結配当性向35%を維持することができました。また、取締役会決議に基づき544万96百株の自己株式を取得したほか、自己株式1,000万株を消却しました。

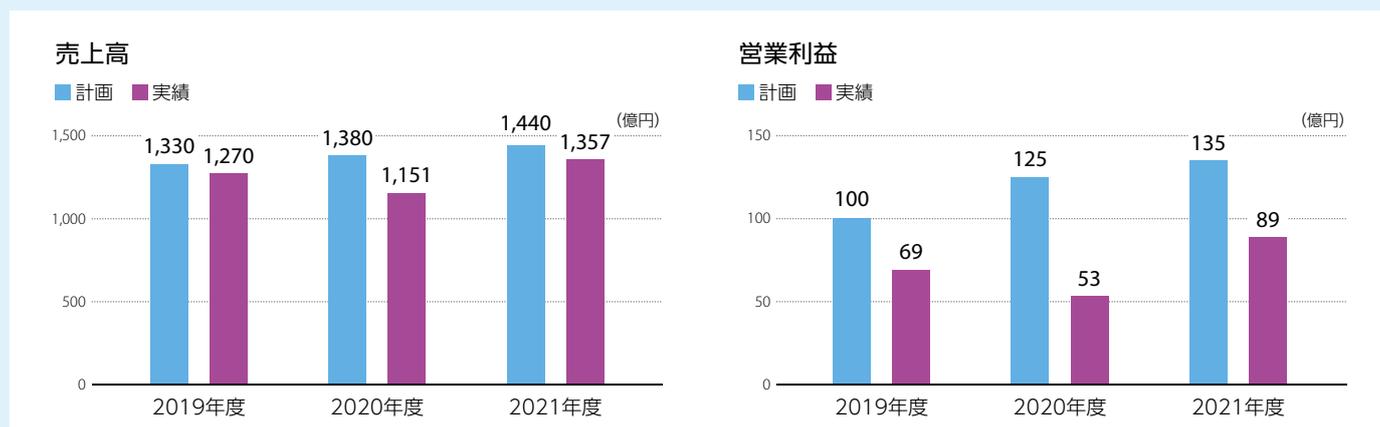
Q 第4期中期経営計画の総括をお願いします。

A 事業戦略再構築の必要性を痛感

新型コロナウイルスは、当社に限らず企業に大きな変化をもたらしました。テレワークの導入などにより働き方を見直すを得なくなったことで、社員のやりがいや、業務に対する成果の重要性が改めて認識されました。また、エネルギーシフトや循環型社会への移行、デジタル技術の目覚ましい進化といった大きな外部環境の変化に対応して持続可能な会社であり続けるためには、コスト構造や経営体質の改善のほか、脱炭素社会を見据えた事業戦略の再構築の必要性を痛感しました。

第4期中期経営計画期間の売上高と営業利益

- グラフの計画値は2019年5月の第4期中期経営計画策定時の数値です。
- 2020年度(2020年12月期)は決算期変更の変則期間であったため、2020年1月1日から12月31日までの12ヵ月間の参考数値(監査対象外)を実績として記載しています。



長期経営ビジョン

Q 長期経営ビジョンについて教えてください。

A 流れを変えて、未来を変える

昨年の創業70周年を機に、企業としての存在意義と社会に対する貢献について議論を重ね、長期経営ビジョンを公表するに

あたり、企業理念である「キッツ宣言」を改訂することとしました。私たちは、ゆたかな地球環境と持続可能な未来を創造することが、社会に対して果たすべき使命であると認識し、創業以来培ってきた流体制御技術と材料開発をさらに磨き上げ、社会インフラを支え続けていくという強い思いを込めています。

今年2月に発表した長期経営ビジョン『Beyond New Heights 2030 「流れ」を変える』は、目まぐるしく変化する社会環境の中で、「キッツ宣言」の実現に向けて2030年にありたい姿を掲げたものです。

社会課題の解決につながる大きな潮流として、「デジタル化」と「脱炭素化」が社会や市場を変革しようとしています。キッツグループは、これまであらゆる産業分野、とりわけ建築設備分野や石油化学・一般化学分野を中心に暮らしや産業を支え、ゆたかな社会づくりに貢献してまいりました。それらのコアビジネスの基盤を強化する一方、働き方や業務プロセス、ビジネスモデル等において加速する「デジタル化」、カーボンニュートラルの実現に向けた「脱炭素化」

をキーワードとして、リスクを恐れず成長ビジネスへの参入を加速してまいります。総投資枠は800億円(9ヵ年)を設定しました。内、約6割を成長・新規分野への戦略投資枠(DX・M&Aを含む)とし、コア事業からのビジネスシフトに向け、経営リソースを重点的に割り当ててまいります。

また、経営戦略の中核にサステナビリティを据え、事業を通じた社会課題の解決に取り組み、企業価値と社会価値の向上に努めるとともに、効率的で、公正かつ透明性の高い企業経営を実現することによって、社会から信頼される企業を目指していききたいと考えています。

サステナビリティ経営の全体像



2030年にありたい姿

テクノロジー/ソリューション

「流す」「止める」「絞る」のあらゆるニーズに、オンリーワンの技術とユーザーの期待を超える提案力で挑戦し続ける

事業を通じた環境保全

環境にやさしい商品・材料の開発や製造プロセスを追求し、持続可能な未来に貢献することにより、社会から信頼される

コアビジネス/成長ビジネス

情報化社会、サステナブル社会に向けて、コアビジネスの基盤を強化し、同時に成長ビジネスへの参入を、リスクを恐れず加速させる

多様な人財の活躍

性別、年齢、国籍、文化等を超えて、社員一人ひとりがプロフェッショナルとして、最高のパフォーマンスでいきいきと働いている

FY2030定量目標

平均売上高成長率 **4%以上**
(FY2030 連結売上高2,000億円規模)

ROE **10%以上**
(FY2030 連結当期純利益100億円規模)

第1期中期経営計画2024

2030年に向け、2024年度を最終年度とする「第1期中期経営計画2024」を併せて策定しました。主力のバルブ事業では、キッツグループが得意としている建築設備、石油化学、水処理及び機械装置をコアビジネスと位置づけ、その基盤をさらに強化して確固たる土台を築く一方、社会課題の解決のためのキーワードである「デジタル化」、「脱炭素化」に向けての成長市場にリソースを投入してまいります。具体的には、半導体装置、半導体材料(フィルター)、機能性化学及び水素／低炭素を中長期のターゲット市場と決めました。これらの成長分野に積極的にリソースを投入し、

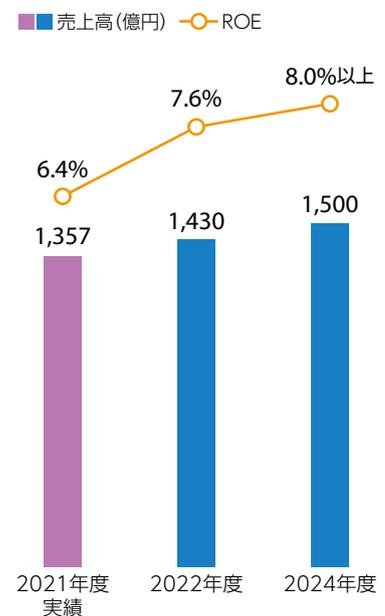
収益構造を変化させてまいります。

また、付加価値業務や成長分野に資源をシフトするために、ビジネストランスフォーメーションプロジェクトによる業務革新を進めるほか、投資収益性と成長性を軸とした事業管理を強化してまいります。

「流れを変える」ためには、企業も社員一人ひとりも、大きく変革していかななくてはなりません。臆することなく迅速果敢な実践力で前進し、2030年に向けて流れを変えて、未来を変えることに挑戦します。

第1期中期経営計画2024(2022～2024年度)の数値目標

	2021年度実績	2022年度	2024年度
売上高	▶ 1,357億円	▶ 1,430億円	▶ 1,500億円
営業利益	▶ 89億円	▶ 100億円	▶ 120億円
ROE	▶ 6.4%	▶ 7.6%	▶ 8%以上
セグメント別売上高			
バルブ事業	▶ 1,067億円	▶ 1,122億円	▶ 1,185億円
伸銅品事業	▶ 273億円	▶ 290億円	▶ 295億円
その他	▶ 16億円	▶ 18億円	▶ 20億円
セグメント別営業利益			
バルブ事業	▶ 120億円	▶ 133億円	▶ 151億円
伸銅品事業	▶ 6億円	▶ 8億円	▶ 10億円
その他	▶ △2億円	▶ 0億円	▶ 1億円
非財務目標※1			
CO ₂ 削減率 (2013年比、国内グループ)	▶ △26.9%※2	▶ -	▶ △80%
社員エンゲージメントスコア			
働きがい※3	▶ 48pt	▶ -	▶ 56pt
働きやすさ※4	▶ 43pt	▶ -	▶ 55pt
女性社員全体比率	▶ 21.7%	▶ -	▶ 23%
女性管理職比率※5	▶ 3.4%	▶ -	▶ 10%
男性育児休業取得率	▶ 29.0%	▶ -	▶ 50%



※1 CO₂削減率を除きキッツ単体
 ※2 2020年度実績
 ※3 目標に向けた貢献意欲や帰属意識、自発的努力などを測定する質問項目におけるスコア
 ※4 スキルや能力を活かす機会、働きやすい環境などを測定する質問項目におけるスコア
 ※5 管理職:部門長職に就いている社員

最後に、株主の皆様メッセージをお願いします。

A 長期経営ビジョンの達成に向けて

当期末の配当金につきましては、1株当たり9円を予定しておりましたが、株主の皆様に一層の利益還元を図るべく2円を加算し1株につき11円とさせていただきます。中間配当として9円の配当を実施しておりますので、年間配当額は20円となりました。9ヵ月決算であった前期から11円の増配となり、配当性向は

36.2%となりました。

長期経営ビジョンの達成に向けて、収益構造を変化させ、安定的な成長領域を確保し、また、脱炭素社会を見据えた事業機会の獲得を進めてまいります。

キッツは昨年創業70周年を迎えましたが、これはあくまでも通過点です。外部環境の変化に合わせて流れを変え、次の80年そして100年に向けてさらなる高みを目指してまいります。

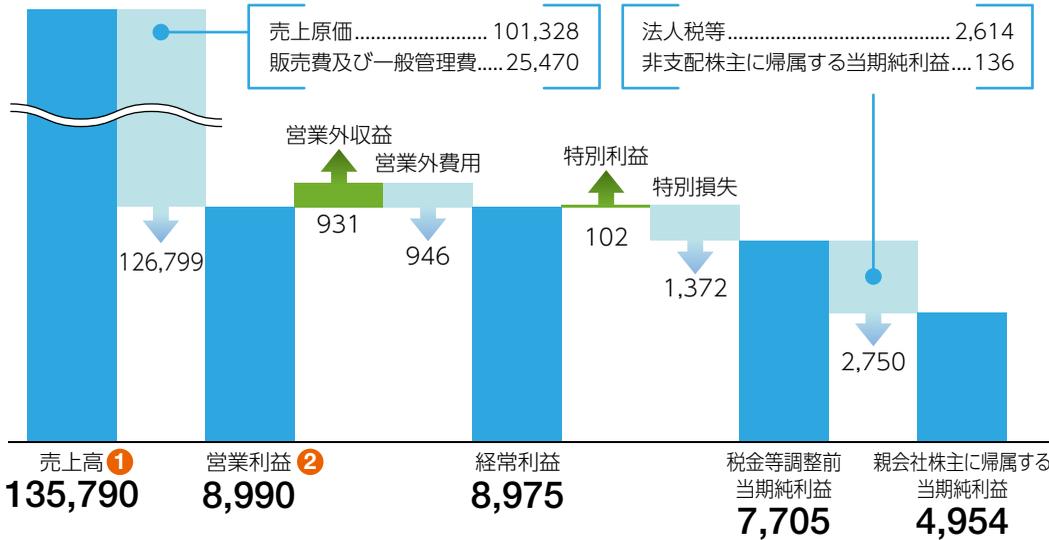
株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト

連結損益計算書の概要

当期 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(単位：百万円)



Point ①

売上高
バルブ事業において、半導体製造設備向けが好調に推移したほか、原材料価格の高騰を受けて実施した価格改定の効果やそれに伴う駆け込み需要の発生により増収となりました。伸銅品事業においても、原材料相場の上昇に伴う販売価格の上昇及び販売量の増加により増収となった結果、前年同一期間比17.9%増の1,357億90百万円となりました。

Point ②

営業利益
バルブ事業における増収による増益や、伸銅品事業における増収及び生産性向上による増益により、前年同一期間比68.7%増の89億90百万円となりました。

Point ③

総資産
短期借入金返済による現金及び預金の減少がありましたが、受取手形及び売掛金並びにたな卸資産の増加等により、前期末に比べ27億37百万円増加しました。

Point ④

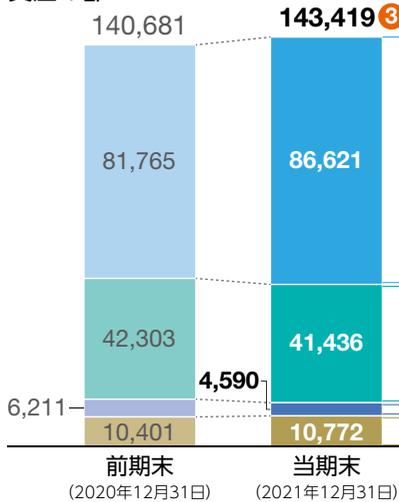
負債
支払手形及び買掛金の増加等がありましたが、短期借入金返済による減少等により、前期末に比べ33億48百万円減少しました。

Point ⑤

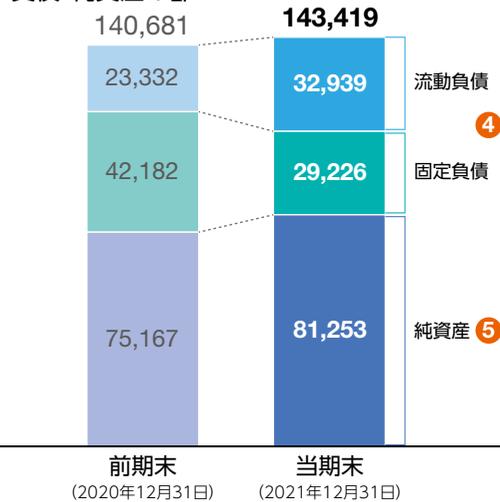
純資産
親会社株主に帰属する当期純利益49億54百万円の計上や為替換算調整勘定の増加等により、前期末に比べ60億86百万円増加しました。

連結貸借対照表の概要

資産の部



負債・純資産の部



主要連結財務指標の推移



※本株主通信中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しています。
※決算期変更の変則期間である2020年12月期は9ヵ月決算となっています。

新市場区分「プライム市場」への移行について

株式会社東京証券取引所より2022年1月11日付で公表された新市場区分の選択結果の通り、4月4日より「プライム市場」に移行することとなりました。

今後も株主の皆様にご支援いただけますよう、より高いガバナンス水準を備え、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に取り組んでまいります。



半導体分野への投資を決定 キッツエスシーティーに新工場棟を建設

グループのさらなる成長を目指し、半導体製造設備用バルブ及び継手の製造・販売を担う株式会社キッツエスシーティーの新田SC工場(群馬県太田市)に、新工場棟の建設及び生産設備への投資を行うことを決定しました。

キッツエスシーティーにおいては、国内外で旺盛な

半導体市場の成長に合わせた生産体制の拡充が急務となっています。新工場棟を建設し、自動化生産設備を配備することにより生産能力の増強を図るとともに、新工場棟内に新商品開発評価エリアを拡大し、新商品の市場投入の迅速化を目指してまいります。



新工場棟 イメージ図

バルブトラブルの未然防止ソリューション「KISMOS」のサービスを開始

キッツは、様々な生産プロセスで重要な役割を担うバルブの異常の予兆をいち早く検出する独自のセンシング、IoT及びAIを活用した技術開発を進めていますが、このたび、プラントや工場におけるバッチ処理生産プロセス向けに、バルブの異常の予兆検出を行うモニタリングサービス「KISMOS(KITZ SMART MONITORING SYSTEM:キスモス)」の提供を開始しました。

本サービスは、バルブのモニタリング開始時の費用や工事期間が不要、かつ、運用時の作業負担が少ないバルブトラブルの未然防止ソリューションです。これにより、バルブの選定から計画的なメンテナンスまで、トータルにお客様をサポートする体制が整います。

キッツは、ソリューション提案型ビジネスに本格的に挑戦してまいります。



センサ等の機器を搭載したバルブ

国内製造拠点にCO₂フリー電力を導入し2013年比でCO₂総排出量80%以上削減

キッツは、2021年12月に策定した環境長期ビジョン「3ZERO(トリプルゼロ)」に、2050年までにCO₂排出量をゼロとすることを掲げています。

ゆたかな地球環境と持続可能な未来を創造していくために、2022年4月より、キッツグループの製造拠点多く所在する長野県の豊富な水資源を最大限活用したCO₂フリーの「信州Greenでんき」や水力発電及び太陽光発電由来の環境価値を活用したCO₂フリー電力を国内8事業所に導入します。

これにより、使用電力の100%がCO₂フリー電力となることから、年間3万5,693t相当のCO₂排出量が削減され

る見込みであり、国内グループ会社の総排出量は2013年比で80%以上の削減となります。

●導入事業所

会社名	事業所名
株式会社キッツ	伊那工場(長野県)、茅野工場(長野県)、長坂工場(山梨県)、本社(千葉県)
株式会社キッツエスシーティ	新田SC工場(群馬県)
株式会社キッツマイクロフィルター	茅野工場(長野県)、諏訪工場(長野県)
株式会社キッツメタルワークス	本社工場(長野県)

NEDOグリーンイノベーション基金事業「水素航空機向けコア技術開発」に参画

川崎重工業株式会社様(以下、川崎重工)は、NEDO*から公募された「グリーンイノベーション基金事業/次世代航空機の開発プロジェクト」に、「水素航空機向けコア技術開発」を提案し採択されています。キッツは本事業への参画企業として、川崎重工より「水素航空機向けエンジン燃焼器・システム技術開発」及び「液化水素燃料貯蔵タンク開発」におけるバルブの技術開発の再委託を受けました。

本事業は、経済産業省が関係省庁と策定した「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」に示される、「経済と環境の好循環」の一助となることを目指すものです。

キッツは、本事業におけるバルブの技術開発を通じて次世代航空機の実現に寄与するとともに、水素関連事業の



提供：川崎重工業株式会社

推進により2050年までのカーボンニュートラル実現に貢献してまいります。

*国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

国連グローバル・コンパクトに署名

キッツは、国際連合が提唱する「国連グローバル・コンパクト」に署名し、2021年8月23日付で参加企業として登録されました。「国連グローバル・コンパクト」は、各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な

取り組みです。署名する企業・団体は、人権、労働、環境及び腐敗防止の4分野に関わる10の原則を遵守・実践し、企業戦略や活動を展開していくことが求められます。

「国連グローバル・コンパクト」に署名しその企業姿勢を明確に表明することで、サステナビリティ経営をより強化し、グローバルな社会的課題の解決に取り組んでまいります。

TCFDへの賛同及びTCFDコンソーシアムへの参画について

キッツは、気候関連財務情報開示タスクフォース(以下、TCFD)による提言への賛同を表明するとともに、同提言に賛同する企業や金融機関等からなるTCFDコンソーシアムに参画しました。

今後、データに基づいた分析を段階的に進め、気候変動

に関するリスクと機会を把握するとともに、TCFD提言に沿った情報開示の質と量の充実を進めてまいります。



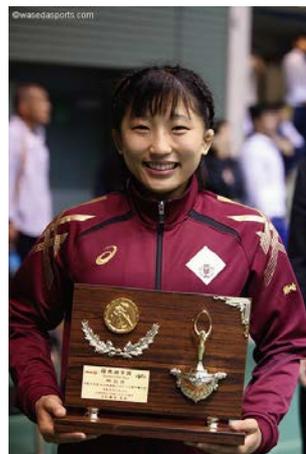
東京2020オリンピック 金メダリスト 須崎優衣選手の入社内定

須崎選手は本社の所在する千葉県出身のアスリートです。大けがを克服し、コロナ禍において東京オリンピックが1年延期される困難な環境においても真摯に競技と向き合い、出場権を獲得するとともに、東京オリンピックでは全試合無失点で金メダルに輝くなど、日本中に大きな感動を与えてくれました。逆境にあっても常に高みを目指す須崎選手の姿勢に共感し、競技活動を支援することとしました。

長期経営ビジョン『Beyond New Heights 2030「流れ」を変える』を実現するために策定した「第1期中期経営計画2024」の最終年度となる2024年度に、パリオリンピックが開催されます。パリオリンピックで金メダルを獲得するという大きな目標に向かって努力する須崎選手の姿は、さらなる飛躍を目指すキッツと重なります。キッツは須崎選手を応援し、ともにチャレンジを続けてまいります。

● 須崎 優衣(すさき ゆい)選手のプロフィール

競技種目	レスリング	出身地	千葉県松戸市
生年月日	1999年6月30日	出身校	早稲田大学(2022年3月卒業見込み)



株主優待のご案内

キッツは、株主の皆様のご支援に対する感謝の気持ちを込めて、株主優待を実施しています(2021年12月31日時点で100株以上保有されている株主様が対象)。

100株以上

①「株主様ご優待案内」冊子(グループ会社優待券)

キッツグループの商品・サービスより、家庭用浄水器及びホテルの各種優待券をご用意しています。

また、キッツが社会貢献活動の一環として、その活動を支援している北澤美術館の招待券を進呈いたします。



株式会社キッツマイクロフィルター 家庭用浄水器「ピュリフリー」

1,000株以上

①「株主様ご優待案内」冊子(グループ会社優待券)

上記に同じ

② オリジナルクオカード



1,000株以上 1,000円券 1枚

2,000株以上 2,000円券 1枚

3,000株以上 3,000円券 1枚

③ 以下の優待品より1点を選択

- 北澤美術館ガラス工芸品カレンダー(大判サイズ)
- 北澤美術館日本画カレンダー(大判サイズ)
- 北澤美術館日本画カレンダー(卓上サイズ)
- 北澤美術館への寄付 1,200円
- 日本赤十字社への寄付 1,200円



2022年版カレンダー

● 長期保有株主優待

12月31日時点で、5年以上かつ1,000株以上保有されている株主様につきましては、①～③の優待に加え、③の優待品よりさらに1点(計2点)をお選びいただけます。

● 新規株主様への優待

6月30日までに、新規で1,000株以上保有された株主様に、北澤美術館 ガラス工芸品カレンダー1部をお送りいたします。



キッツは、社会貢献活動の一環として公益財団法人北澤美術館の活動を支援しています。北澤美術館では、19世紀末フランスのアル・ヌーヴォー期の世界第一級のガラス工芸品と現代日本画を中心に優れた作品を常時展示しており、国内外から高い評価をいただいています。

株主優待制度による寄付のご報告

2020年12月31日時点の株主様を対象とした株主優待において、「日本赤十字社への寄付」をお選びいただいた株主様からの義援金につきましては、下記の通り寄付いたしましたのでご報告申し上げます。

● 寄付金額:502,000円 ● 寄付日:2021年12月24日

株式の状況

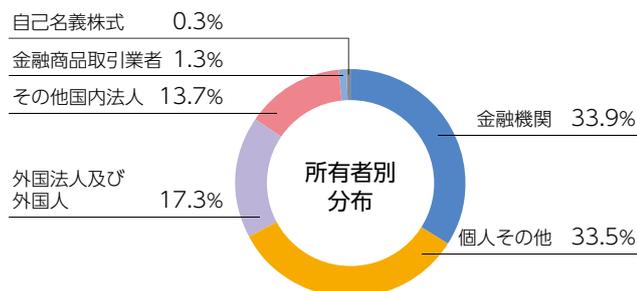
- 発行可能株式総数 400,000,000株
- 発行済株式の総数 90,120,070株

(注) 上記の発行済株式の総数には、当社が2021年12月31日に保有する自己株式276,441株を含めておりません。

- 株主数 12,599名
- 大株主(上位10位)

株主名	当社への出資状況 持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	8,726	9.68
北沢会持株会	4,710	5.23
日本生命保険相互会社	4,303	4.78
株式会社日本カストディ銀行	3,530	3.92
住友生命保険相互会社	3,416	3.79
公益財団法人北澤育英会	3,411	3.79
キッツ取引先持株会	3,204	3.56
株式会社三井住友銀行	2,553	2.83
キッツ従業員持株会	2,069	2.30
セコム損害保険株式会社	1,702	1.89

- (注) 1. 当社は、2021年12月31日現在、自己株式276千株を保有しております。また、持株比率は、発行済株式の総数から自己株式を除いて計算しております。なお、当社は、「役員報酬BIP信託」を採用しており、日本マスタートラスト信託銀行株式会社が当社株式477千株を保有しておりますが、当該自己株式には含めておりません。
2. 上記の持株数には、信託業務に係る株式を次の通り含んでおります。
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 8,726千株
株式会社日本カストディ銀行 3,530千株
3. 住友生命保険相互会社の持株数には、変額口1千株及び特別勘定6千株を含んでおります。



期末配当金のお支払について

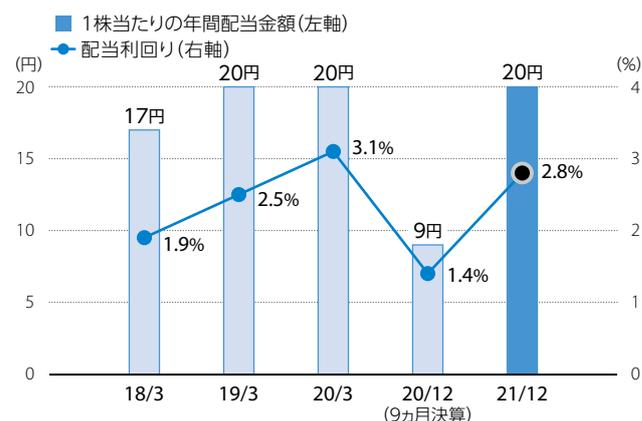
2022年2月24日開催の当社取締役会におきまして、第108期の期末配当金について、以下の通り決議されております。

期末配当金:1株当たり 金11円
効力発生日ならびに支払開始日:2022年3月11日(金)

同封の「第108期期末配当金領収書」により、払渡しの期間(2022年3月11日~2022年4月12日)内に最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。また、銀行等口座振込をご指定の方には、「第108期期末配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」の記載をご確認いただけますよう、お願い申し上げます。

配当方針

キッツは、株主の皆様への利益還元として配当金を経営上の重要課題と位置づけており、連結配当性向については、親会社株主に帰属する当期純利益の35%前後を望ましい水準としております。なお、自己株式の取得につきましては、中長期の成長のための必要な投資額等を考慮したうえで、株式市場及び当社株価の動向、手元資金の状況等を勘案し、適宜検討いたします。今後も、株主様への利益還元をより一層充実させてまいります。



株主メモ

事業年度	1月1日~12月31日
定時株主総会基準日	3月
定時株主総会議決権	12月31日
期末配当金	12月31日
中間配当金	6月30日
その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。	
公告掲載方法	電子公告
	公告掲載URL (https://www.kitz.co.jp/)
	ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話 0120-232-711 (通話料無料)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

会社概要 (2021年12月31日現在)

商号	株式会社キッツ
本社	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目10番1 TEL (043)299-0111(大代表)
代表者	代表取締役社長 河野 誠
資本金	21,207,084,670円
設立年月日	1951年1月26日
従業員数	(単体)1,396名 (連結)5,153名

ウェブサイトのご案内

企業情報のほか、決算情報や財務データなどを掲載しています。



<https://www.kitz.co.jp/>

